

グループ演習 6班

日中の通信傍受に対する意識調査

北田大樹 / 邢欧姪 / 小林樹 / 藤谷知季

1. 研究背景

通信傍受

直接の相手でない者が、**故意**または**偶然**に、
当事者間の**同意**なく、その通信を**受信**すること[1]

犯罪捜査や**テロ対策**を名目に

政府機関や**諜報**・**警察機関**が通信傍受をすることも[2]

懸念

- **国家**や**企業**による**監視**
 ➡ 独裁国家への助長
- 攻撃者が**バックドア**を見つける恐れ
 ➡ 個人情報**の流出**・**悪用の恐れ**

[1]コトバンク．通信傍受．

[2]朝日新聞．警察の通信傍受、昨年1万回超　12事件で82人を逮捕．

通信傍受

直接の相手でない者が、**故意**または**偶然**に、
当事者間の**同意**なく、その通信を**受信**すること [1]

犯罪捜査でもどこで見られているかわからない
政府機関**個人情報**や**政治的意見**の流出とも [2]
人々の**プライバシー**が著しく損なわれる恐れ
懸念

- **国家**や**企業**による**監視**
 ➡ **独裁国家**への助長
- **攻撃者**が**バックドア**を見つける恐れ
 ➡ **個人情報**の流出・**悪用**の恐れ

[1]コトバンク．通信傍受．

[2]朝日新聞．警察の通信傍受、昨年1万回超　12事件で82人を逮捕．

過去の違法な通信傍受の疑惑や事例(1)

アメリカ政府のインターネット傍受(2013年)



インターネット傍受



Microsoft

Google



YAHOO!
JAPAN

アメリカ国家
安全保障局
(NSA)

元CIA, NSA局員

エドワード・スノーデン氏によって

2013年に告発

個人・政府機関・教育機関等

【メタ情報】

電子メール・文書・写真利用
記録・通話

過去の違法な通信傍受の疑惑や事例(2)

北朝鮮の通信傍受(2018年)[3]

中国から携帯電話用盗聴器、
電波妨害機を購入



北朝鮮当局



- ・ 中国から密輸している業者
- ・ 家族と連絡を取る脱北者
- ・ 送金ブローカー

位置のみならず
通話内容まで把握できる

[3]高英起.不正発覚で処刑も...北朝鮮、携帯電話の盗聴に巨額予算.

ファーウェイをめぐる動向

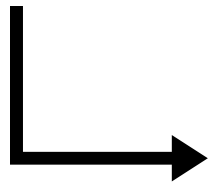


アメリカ政府

通信傍受してるのでは？



否定



特定の**外国企業**からの**通信機器**の**調達**を
禁止する大統領令

→ 事実上ファーウェイ製品を**禁輸**

各国に**ファーウェイ排除**に**同調**するよう
圧力をかける

各国の対応や世論 - 肯定派 -

日本

携帯大手3社、ファーウェイ製スマホの**発売延期**

ソフトバンクが5Gシステムの**提携先**を
ファーウェイから**変更**

オーストラリア

政府が国内の**5Gネットワーク**から
ファーウェイを**排除**することを決定 [5]

海外ユーザーの**通信傍受**の恐れあり

各国の対応や世論 - 否定派 -

イギリス

中国政府の諜報活動に関する具体的な証拠なし

仮に諜報活動の証拠が出たとしても

中国政府に命じられれば従うほかない様子[6]

政府公認のセキュリティテスト施設をHuaweiが運営

ドイツ

ファーウェイのスパイ行為や通信傍受疑惑を否定

ファーウェイに5Gネットワーク構築の参加を

容認（ドイツ）[7]

[6]Financial Times, UK says Huawei is manageable risk to 5G.

[7] 独、ファーウェイの参加容認 = 5G整備で.時事通信社.2019年10月14日.

2. 研究目的

研究目的

通信傍受や情報漏洩への世界的な意識の高まり

目的

- 通信傍受に対する意識およびその高低と日常生活との関係を明らかにする

日本と中国で調査を行い両国間の結果の比較

「日常のセキュリティ活動」と「SNSにおけるプライバシー意識」で作業仮説を設定

日常のセキュリティ意識が低い(高い)ほど
通信傍受に対する意識も低い(高い)

SNSにおけるプライバシー意識が低い(高い)ほど
通信傍受に対する意識も低い(高い)

3. 手法

調査手法

調査はアンケートを用いて行った

以下の分析を行う

通信傍受に対する意識の日中比較

通信傍受に対する対策の日中比較

通信傍受に対する意識の高低と日常活動との関係

アンケートの概要

	日本	中国
調査方法	Google フォーム	WeChat フォーム
調査期間	10/3 ~ 10/10	9/3 ~ 9/18
回答数	72	84

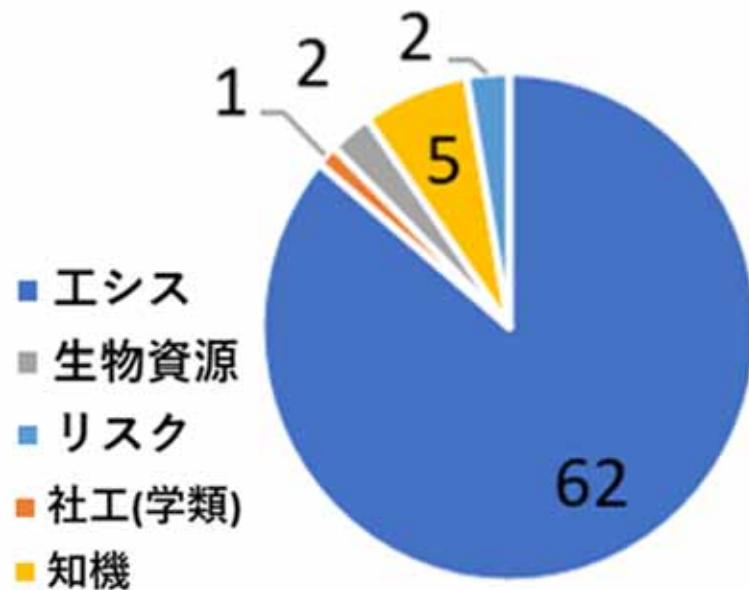
アンケートの質問：

通信傍受に対する**意識**

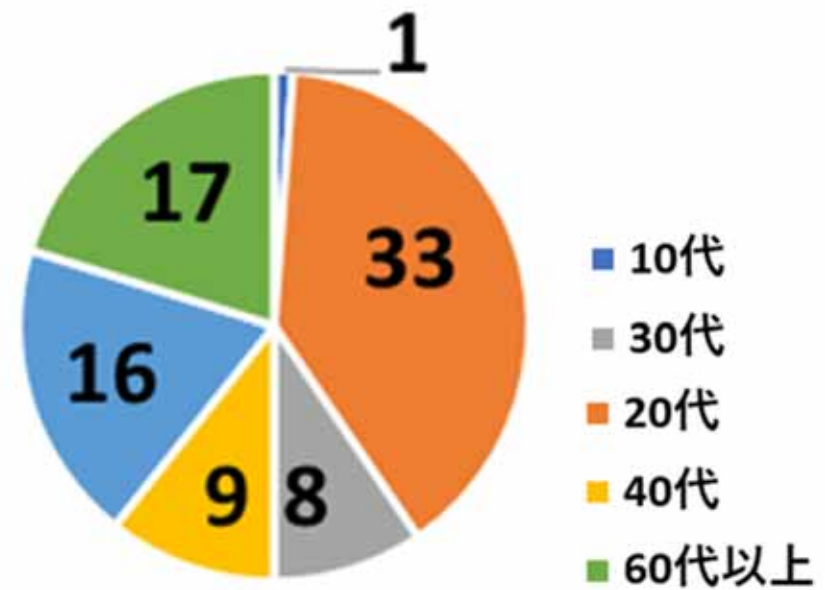
通信傍受に対する**対策**

普段の**セキュリティー行動**及び**SNSのプライバシー意識**

回答者の特徴



日本の回答者の内訳



中国の回答者の内訳

日本の回答者は全員**筑波大学の学生**である。
中国の回答者は10代から60代以上と幅広いため
10代20代のグループと**30代以上**のグループに分割した

4. 結果

結果

通信傍受に対する意識

通信傍受に対する対策

普段の行動と通信傍受に対する意識の関係

普段のセキュリティ行動との関係

SNSでのプライバシー意識との関係

結果

通信傍受に対する意識

通信傍受に対する対策

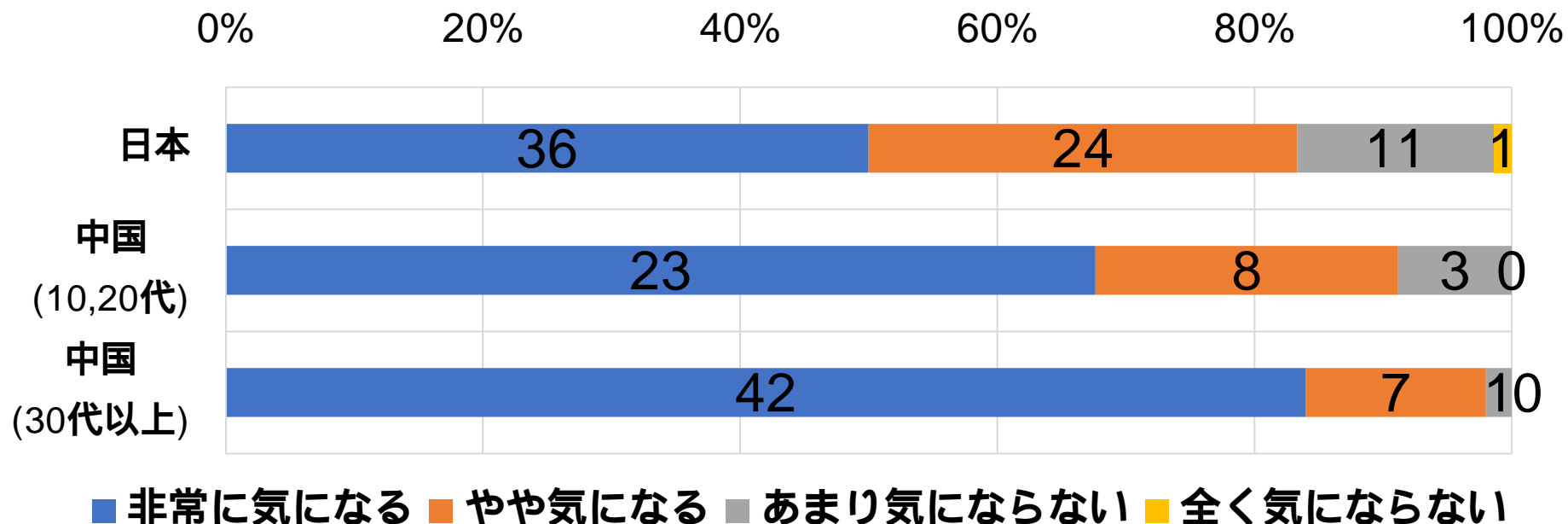
普段の行動と通信傍受に対する意識の関係

普段のセキュリティ行動との関係

SNSでのプライバシー意識との関係

通信傍受に対する意識

自分の端末やネットワークが通信傍受されていたら気になるか

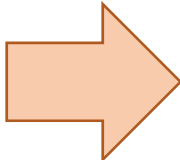


中国の回答者の方が「気になる」と回答する傾向がある

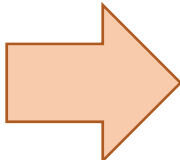
通信傍受に対する意識

H_0 : 「回答者の群と通信傍受に対する意識は独立」

日本の回答者と中国(10代20代)の回答者

 $\chi^2 = 1.17, p = 0.279 > 0.05$

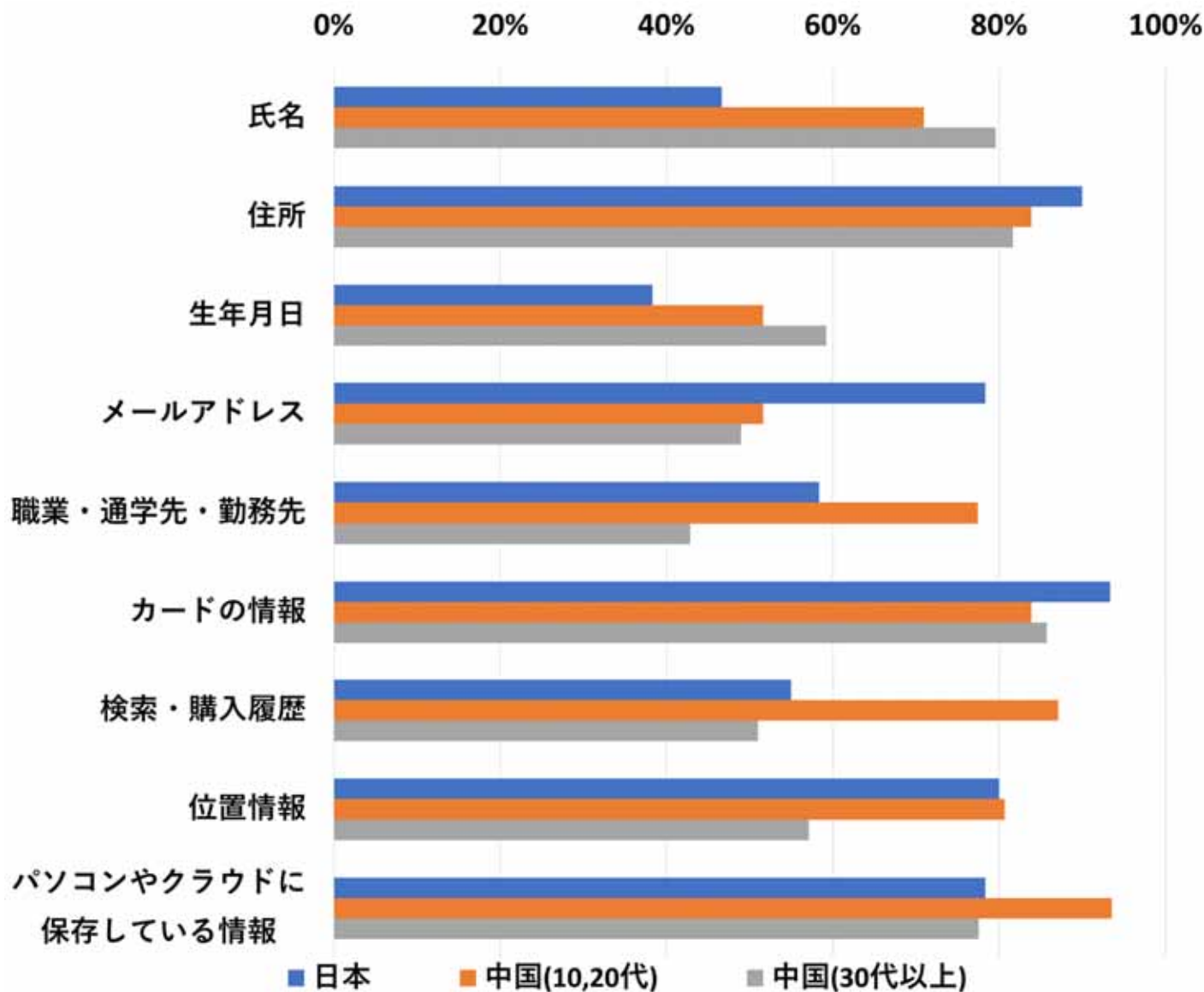
日本の回答者と中国(30代以上)の回答者

 $\chi^2 = 6.68, p = 0.0098 < 0.01$

- 
- 同世代では意識の差はない
 - 中国の30代以上の回答者は意識が高い

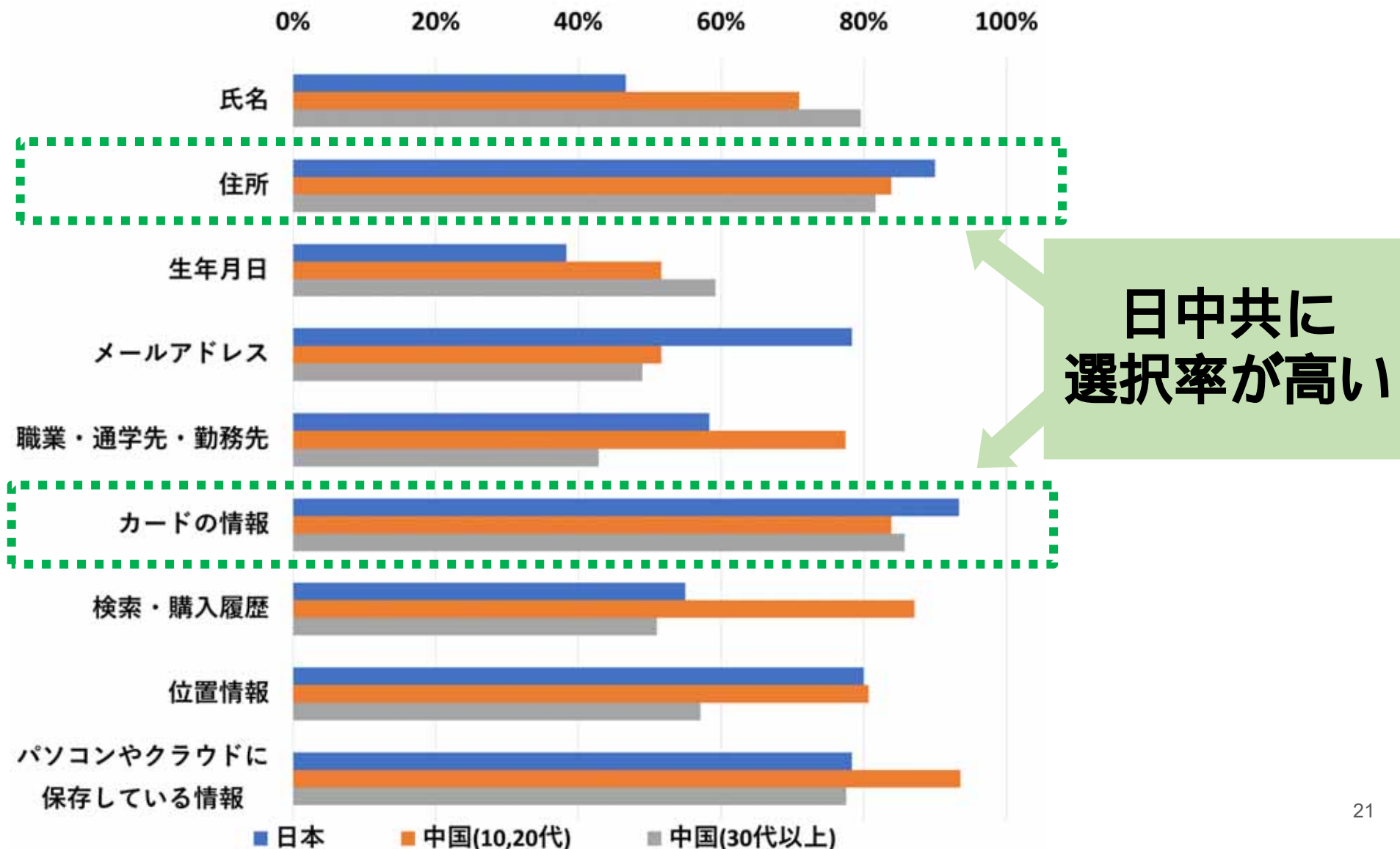
通信傍受に対する意識

傍受されていたら嫌な情報(複数選択可)



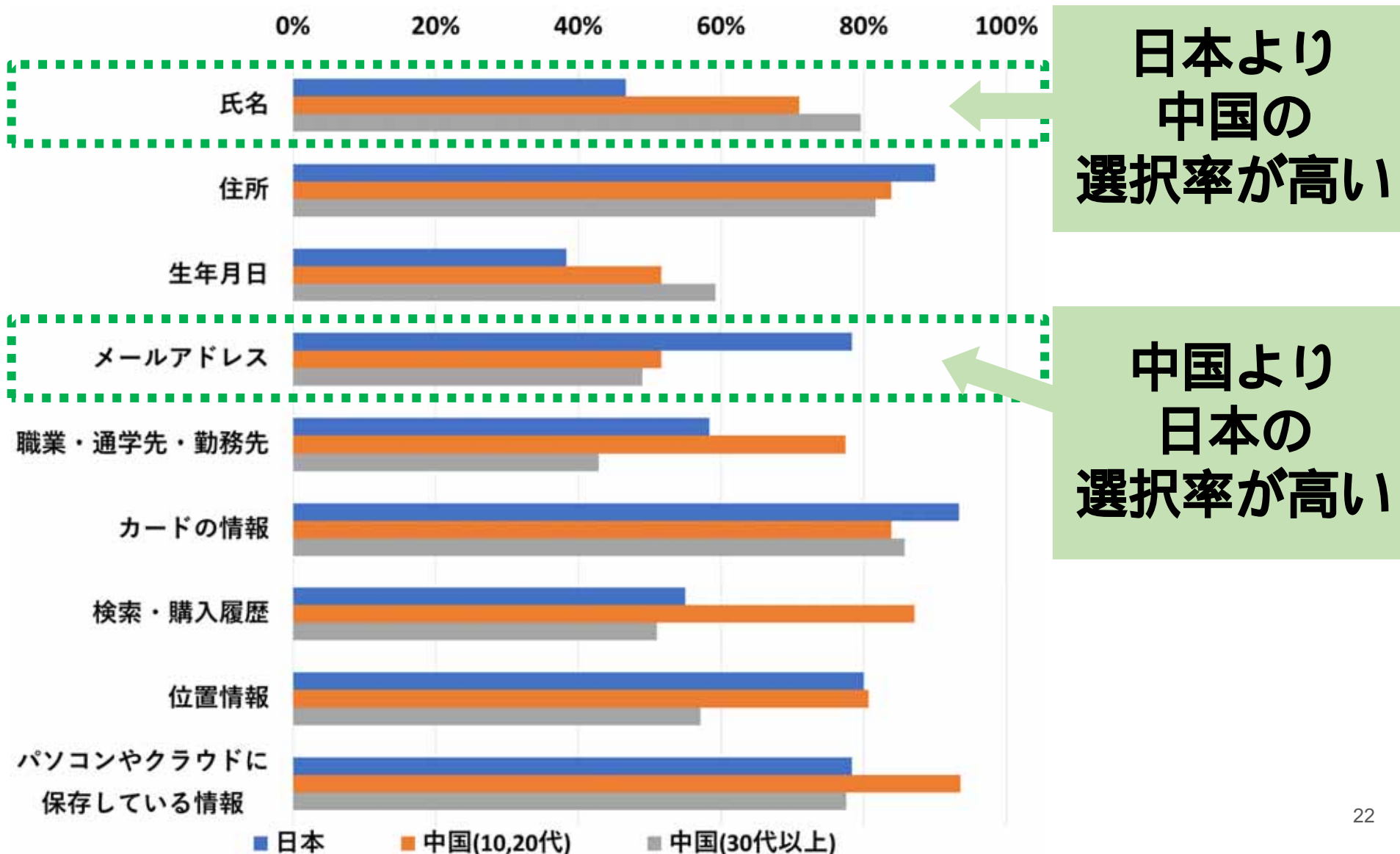
通信傍受に対する意識

傍受されていたら嫌な情報(複数選択可)



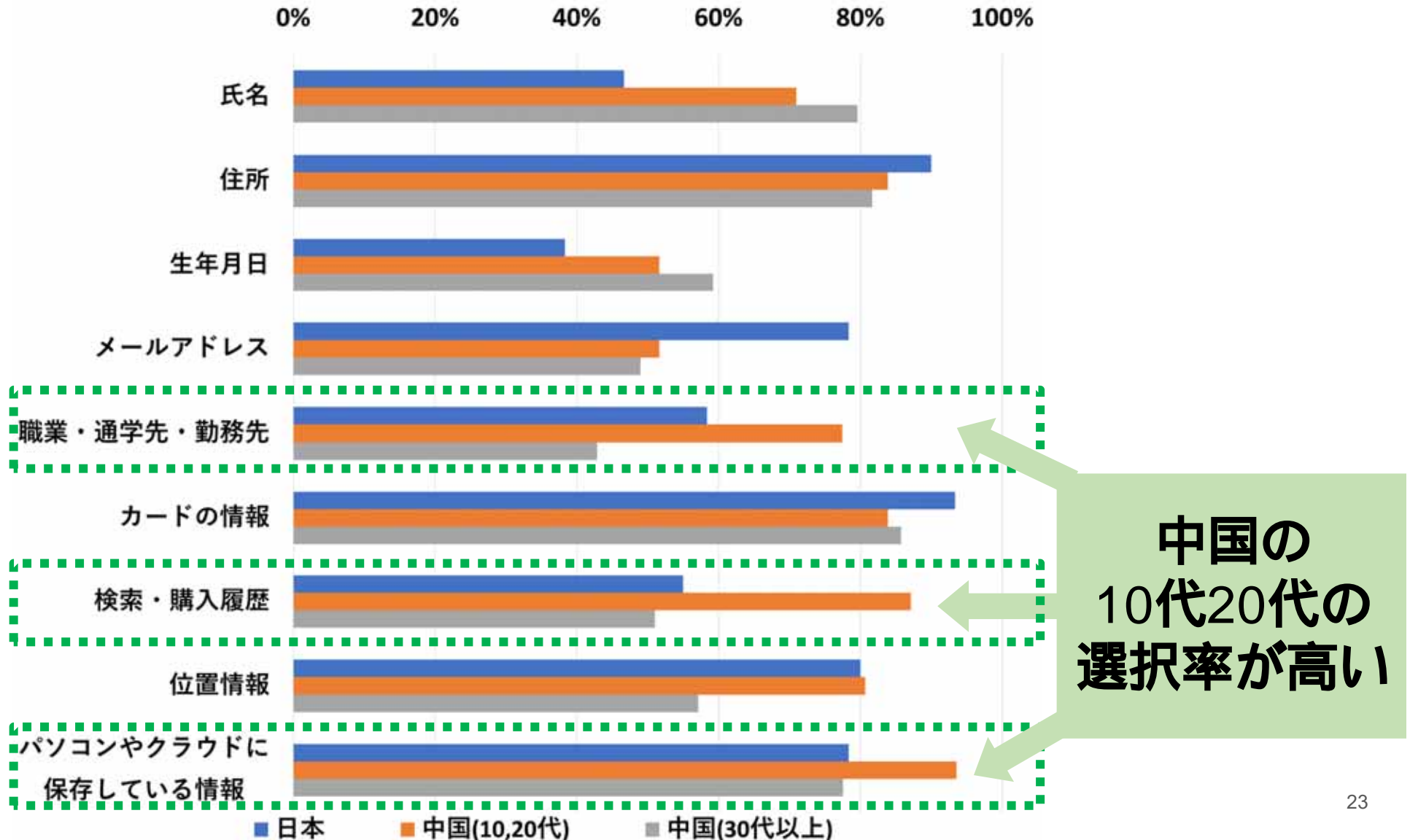
通信傍受に対する意識

傍受されていたら嫌な情報(複数選択可)



通信傍受に対する意識

傍受されていたら嫌な情報(複数選択可)



結果

通信傍受に対する意識

通信傍受に対する対策

普段の行動と通信傍受に対する意識の関係

普段のセキュリティ行動との関係

SNSでのプライバシー意識との関係

通信傍受に対する対策

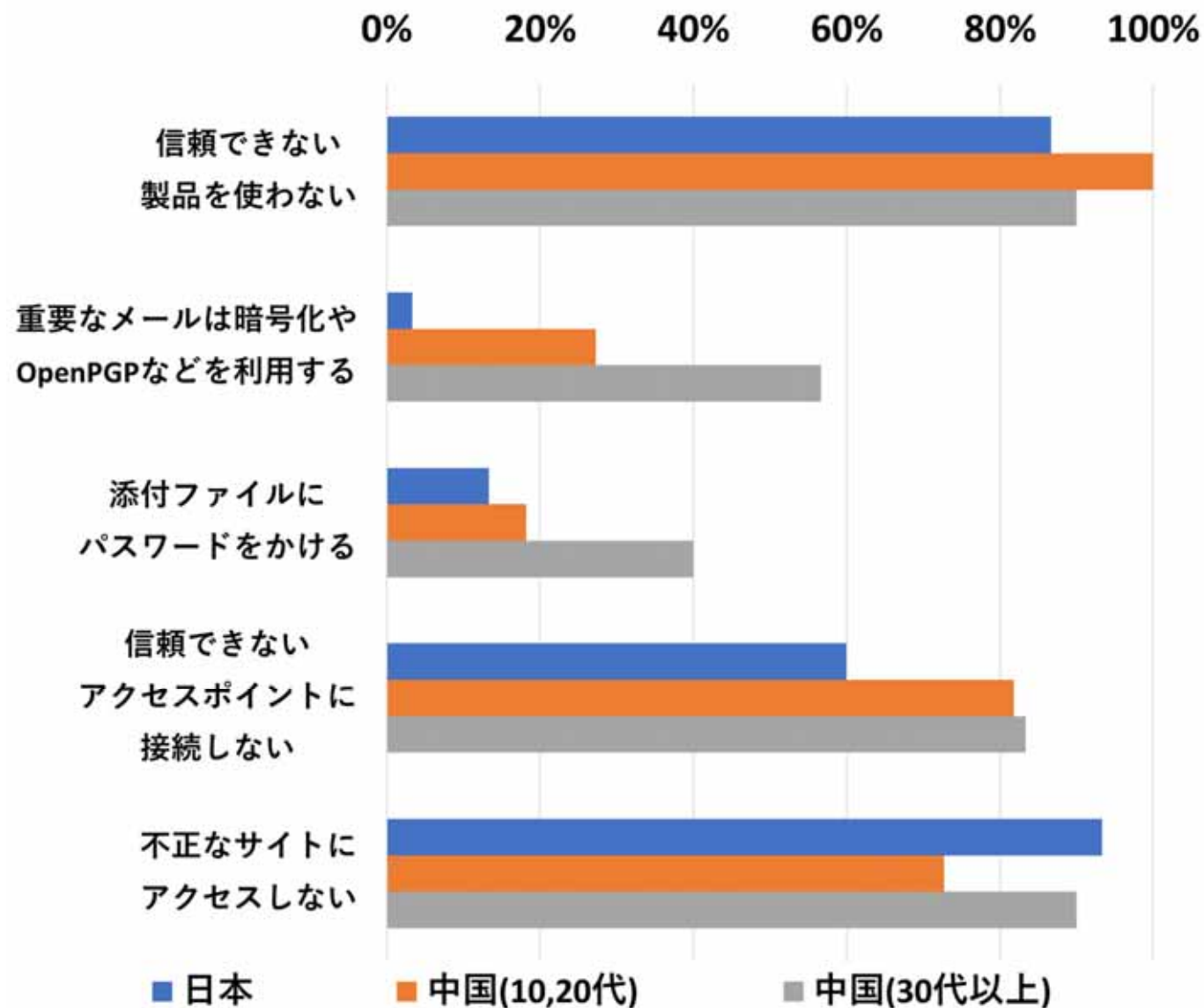
通信傍受が「気になる」と回答した人の対策の有無

	対策をしている	対策をしていない
日本	30人	30人
中国(10代20代)	11人	20人
中国(30代以上)	30人	19人

- 
- **日本**では対策の有無は半々
 - **中国**では世代間の差がある

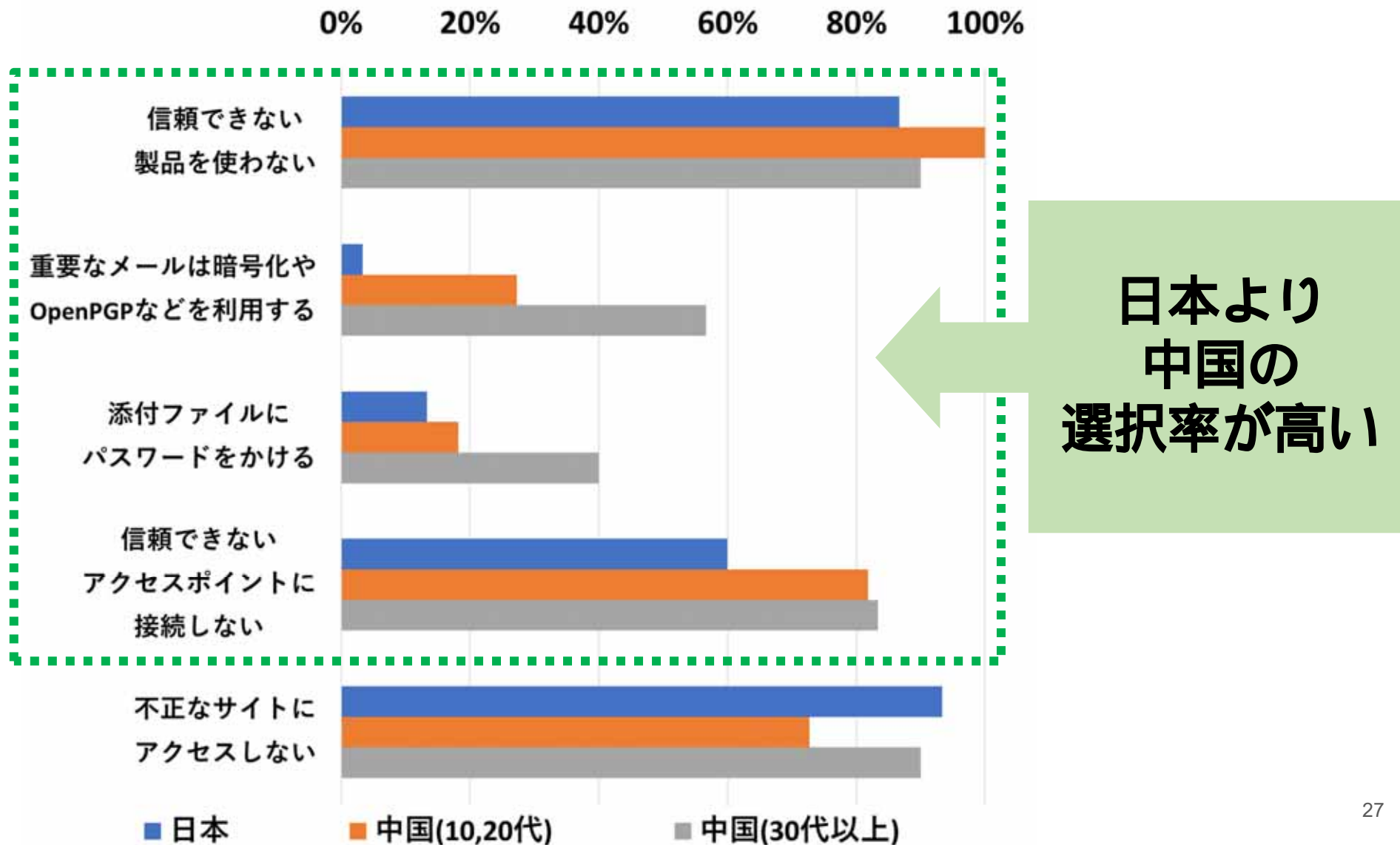
通信傍受に対する対策

具体的にどのような行動を取っているか(複数選択可)



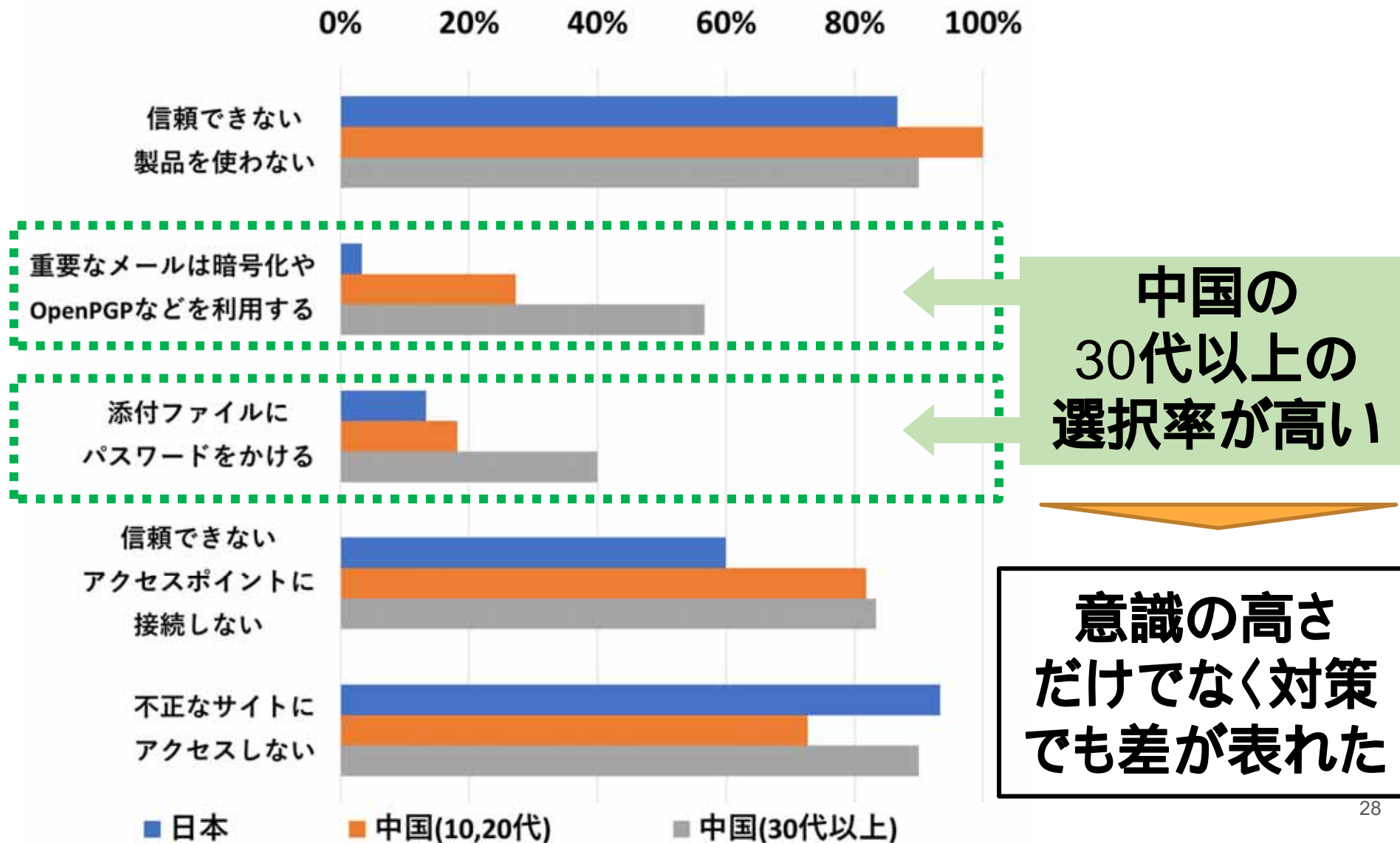
通信傍受に対する対策

具体的にどのような行動を取っているか(複数選択可)



通信傍受に対する対策

具体的にどのような行動を取っているか(複数選択可)



結果

通信傍受に対する意識

通信傍受に対する対策

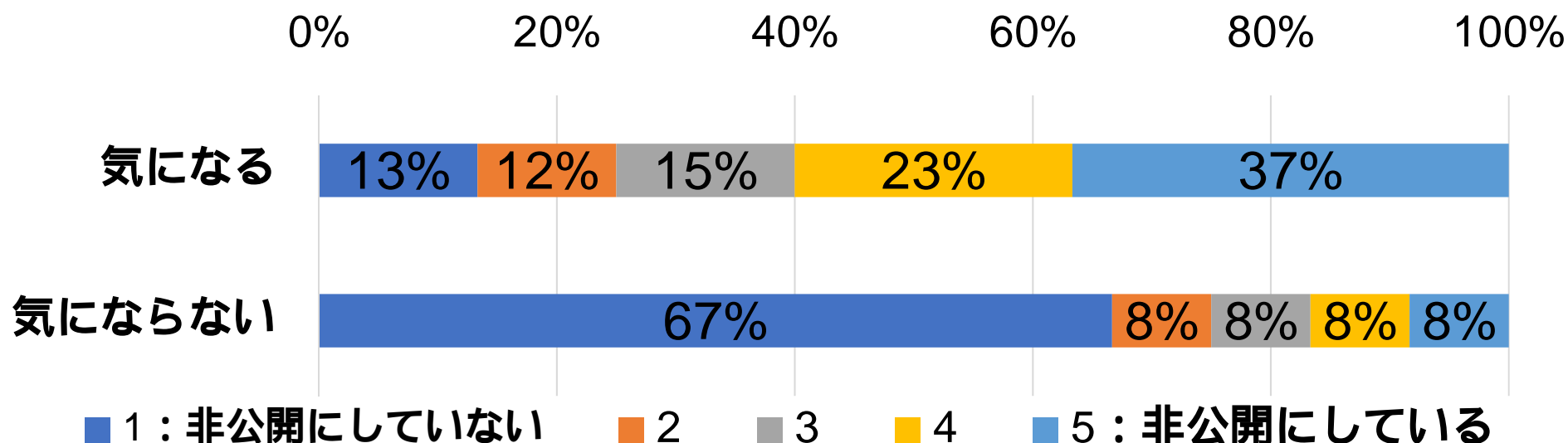
普段の行動と通信傍受に対する意識の関係

普段のセキュリティ行動との関係

SNSでのプライバシー意識との関係

普段のセキュリティ行動と通信傍受に対する意識

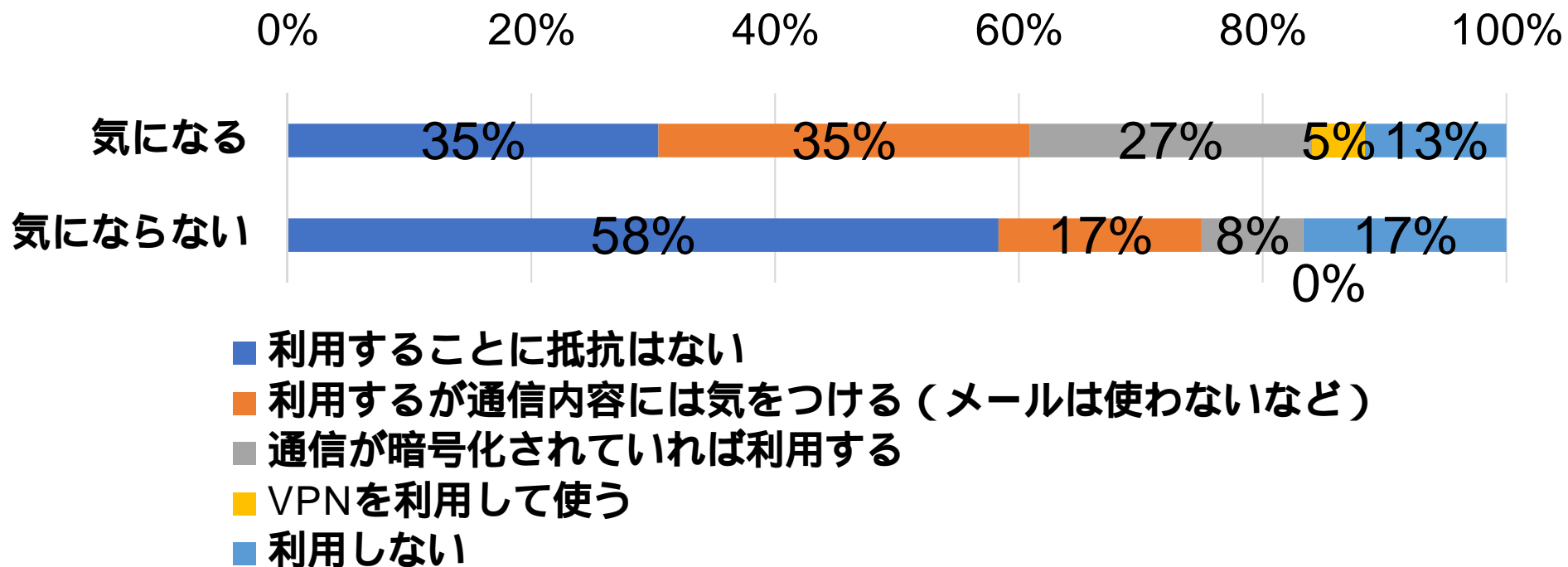
複数のサイト間でパスワードを使いまわすか



通信傍受が「気にならない」群は
パスワードを使いまわす割合が高い

普段のセキュリティ行動と通信傍受に対する意識

公衆wifiの利用において当てはまるもの



通信傍受が「気にならない」群は
公衆wifiへの利用抵抗が低い

結果

通信傍受に対する意識

通信傍受に対する対策

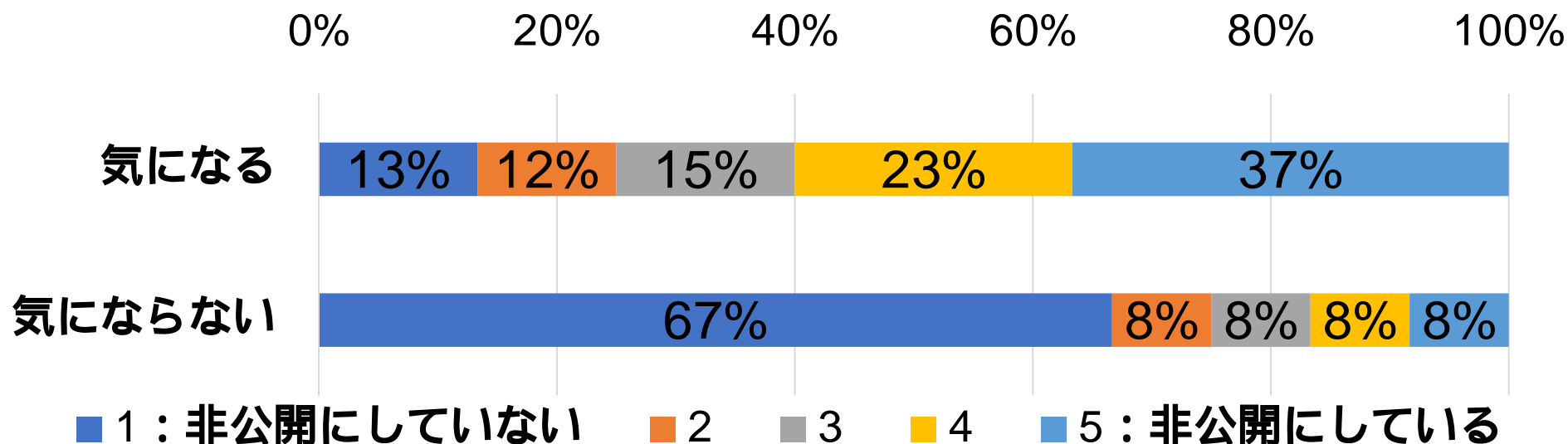
普段の行動と通信傍受に対する意識の関係

普段のセキュリティ行動との関係

SNSでのプライバシー意識との関係

SNSでのプライバシー意識と通信傍受に対する意識

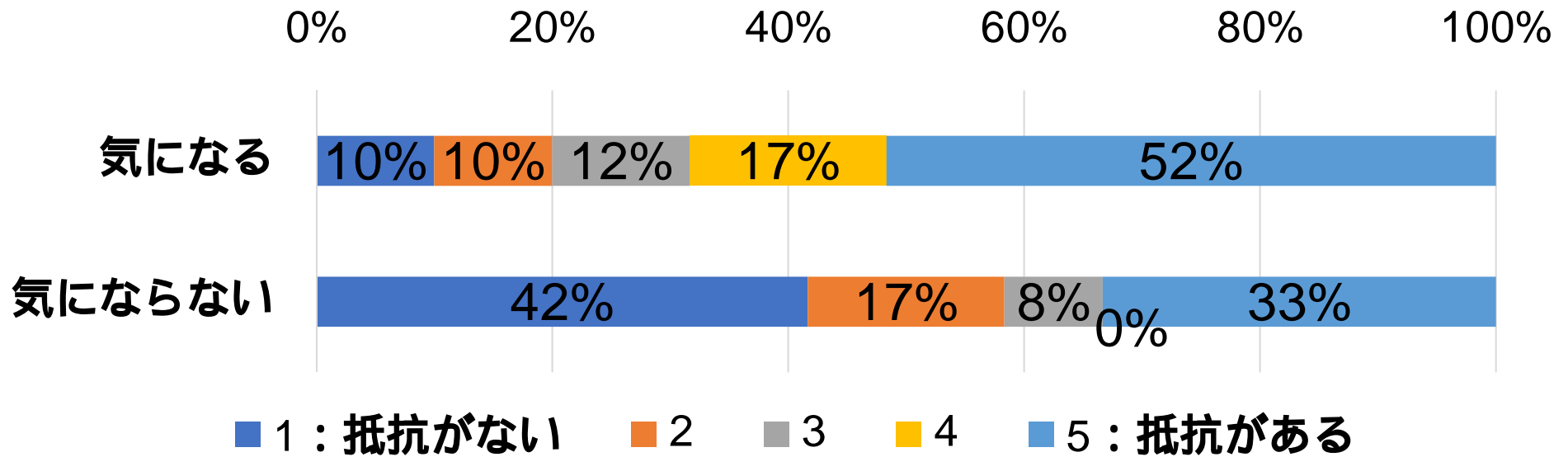
利用しているSNSの非公開設定度合い



通信傍受が「気にならない」群は
SNSに非公開設定をつけない割合が高い

SNSでのプライバシー意識と通信傍受に対する意識

SNSに自分の写った写真を公開することに抵抗があるか



通信傍受が「気にならない」群は
SNSに自分の写った写真を公開することに
対する抵抗が低い

5. 考察・まとめ

考察・まとめ

作業仮説

「セキュリティ意識が低い人ほど、通信傍受に対する意識も低い傾向にある」

パスワードの使い回しを日常的に行う人のうち
通信傍受が「気になる」と回答した割合 37%
通信傍受が「気にならない」と回答した割合 67%

公衆Wi-Fiの利用を日常的に行う人のうち
通信傍受が「気になる」と回答した割合 35%
通信傍受が「気にならない」と回答した割合 58%

考察・まとめ

作業仮説

「プライバシー意識が低い人ほど、通信傍受に対する意識も低い傾向にある」

SNSの一般公開設定している人のうち

通信傍受が「**気になる**」と回答した割合 13%

通信傍受が「**気にならない**」と回答した割合 67%

自分の映った写真のアップに抵抗がない人のうち

通信傍受が「**気になる**」と回答した割合 10%

通信傍受が「**気にならない**」と回答した割合 42%

考察・まとめ

日中比較

- ・ 30代以上の中国人は通信傍受に対する関心が**高い**
- ・ 30代以上の中国人は対策として**OpenPGPや暗号化**をあげる割合が**高い**



- ・ 通信傍受に対する意識

機密情報を扱う実務経験・情報管理に関する研修等の経験に依存

考察・まとめ

日中比較

- ・ 日本人は中国人よりもメールアドレスを抜き取られることを嫌がる傾向にある
- ・ 30代未満の中国人は職業・通学先・検索、購入履歴データを抜き取られることを嫌がる傾向にある



- ・ 日本人のメールアドレスに現れる傾向
迷惑メール等の犯罪が横行しているためか？
- ・ 中国人の若者
社会信用システムに対する不満の現れ？
上記のデータによる犯罪事例が多い？